
□自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン■

-- NINS Symposium ----- 2013/12/26 発行 第 015 号 -----

先日の第 15 回自然科学研究機構シンポジウムでは、たくさんの方にご来場いただきありがとうございました。展示会場も大勢の方で賑わい、盛況のうちに終わることができました。

さて、第 16 回自然科学研究機構シンポジウムの開催予定をお知らせします。

参加申込みの受付開始は 2 月上旬を予定しております。

□ 第 16 回シンポジウム最新情報 ■

日時：平成 26 年 3 月 8 日（土） 10:30～17:00

場所：名古屋市科学館サイエンスホール
（愛知県名古屋市中区栄二丁目 1 7 番 1 号）

テーマ：天体衝突と生命進化

LIVE 配信：動画共有サービス Ustream にて LIVE 配信予定。

プログラム：

10：30～10：40 機構長挨拶
＜佐藤 勝彦 自然科学研究機構 機構長＞

10：40～11：00 チェリャビンスク隕石：何が起きたのか？ <イントロ>
＜渡部 潤一 国立天文台 教授＞

11：00～11：50 地球への天体衝突とニアミス（仮）
＜吉川 真 JAXA/ISAS 准教授・日本スペースガード協会＞

11：50～13：00 昼休み（70 分）

13：00～13：50 天体衝突で何が起こるのか –衝突の物理と地球への影響–（仮）
＜杉田 精司 東京大学 教授＞

13：50～14：40 天体衝突が残した地質学的証拠（仮）
＜尾上 哲治 熊本大学 准教授＞

14：40～15：00 休憩（20 分）

15：00～15：50 生命進化と大量絶滅の理由（仮）
＜磯崎 行雄 東京大学 教授＞

15 : 50~16 : 00 休憩 (10分)

16 : 00~16 : 50 パネルディスカッション

<立花 隆、吉川 真、杉田 精司、尾上哲治、磯崎行雄、 渡部潤一>

16 : 50~17 : 00 閉会挨拶

<林 正彦 国立天文台 台長>

□ 各機関のイベント情報 ■

【分子科学研究所】

- ・市民公開講座・分子科学フォーラム 第100回記念講演会
「空はなぜ青いか——身のまわりにはおもしろいことが多い」
藤嶋 昭 (東京理科大学 学長)
平成26年1月31日 (金) 16:30~17:30 過ぎ
岡崎コンファレンスセンター (愛知県岡崎市)
<http://www.ims.ac.jp/seminar/2013/140131.html>

編集後記

前号から今号の発行まで、期間が空いてしまい申し訳ありませんでした。

また、前回のシンポジウムにおいて頂いたご質問に対するQ & Aについては、現在取りまとめを行っております。もうしばらくお待ちください。

今回は、名古屋地区において国立天文台が担当する初めての自然科学研究機構シンポジウムとなります。名古屋地区にお住まいの方で、普段は東京までお越しになれない方は、是非ご来場いただければと思います。

自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

○配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから
<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

○ご意見は以下までお願いします
sympo@nins.jp

発行者：自然科学研究機構

<http://www.nins.jp/>

Copyright(C)2013 NINS All rights reserved.
